



令和8年2月
第253号

かけはし

ケアハウスあじさい園



URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>

認知症疾患医療センター長の先生のコラムです。

「もの盗られ妄想の対象として、いつも「お嫁さん」が登場しますが、他にも対象になる人たちがたくさんいます。意外に多い対象となるのが、私たちの仲間である介護スタッフです。在宅ではホームヘルパーなどがその対象となります。時にはおとなりさんだったりします。少し深読みしすぎという方もおられるかもしれませんが、介護スタッフだと大抵しつかり者のスタッフが対象になったりします。お隣さんでもご自身よりよい身なりをして上品な方が対象になるような気がします。なぜでしょうか。

介護保険制度はその低下した能力に応じたサービスを提供する点でとても優れた制度だと言えますが、一面では「低下した能力に応じて」という点で残酷な制度ともいえます。できなくなったことを人にしてもらう、屈辱的な話ではないでしょうか。お年よりたちは、それを手際よくやってくれる人に対して「ありがとう」とか「ごめんなさい」という言葉しか出せなくなってしまう。結局、役に立たないという自己の存在不安が呼びおこされ続けるのです。朝から晩まで「ありがとう」と「ごめんなさい」の中で生きてゆくのです。そこから生まれる情けなさ、それをそつなくこなす介護スタッフに対するうらやましく思う気もち、それが嫉妬心となり、あら探しから生まれるもの盗られ妄想、これらの連鎖を垣間見ることができなくもないのです。

ならば、私たち自身が先に、お年寄りに対して「ありがとう」という言葉を発することが、有効な介護手段として浮かびあがってきます。昔話をしてもらってありがとう、手伝ってもらってありがとう、ねぎらってもらってありがとう、心配してもらってありがとう、このくりかえしが、お年寄りの自己存在価値を、少しずつとりもどす、きっかけになると考えます。」

当法人でもこのような経験がありました。ヒントをいただいたような気がいたします。

2月行事予定

- 3(火) 豆まき
- 8(日) いどばた会
- 13(金) 訪問理美容
- 26(木) 食事会



1月1日(木) 新年祝い膳と初詣

皆様が、心穏やかに、笑顔でお過ごしくださいますように！



お誕生日おめでとうございます

- A 様 (91歳)
- B 様 (77歳)

